

「茨城県教育委員会と日本計算工学会の連携」

～10月10日 連携協定式～

目的: 将来、本県を支え世界で活躍できるIT人財を育成

意義: 実社会でプログラミングが活用されていることを知ることで、情報教育を学ぶ意義を実感したり、興味関心をもったりすることができる。
学会と教育委員会が連携することで、新たな学びを提供することができる。

連携の内容について

○日本計算工学会会員が**出前授業の講師として協力**(2023年度～)

※12月7日県立つくばサイエンス高等学校でキックオフ出前授業実施

○日本計算工学会会員が作成した**動画を県に提供**(2024年度～)

※県教委から学会に依頼(動画20本程度) ⇒各領域動画コンテンツの作成(20分)

⇒コンテンツは県ホームページで提供 ⇒学校は希望する講師を出前授業として依頼

○その他、情報教育に関することを**必要に応じて協議し実施**

【動画コンテンツ例】

- ・地震における室内被害のVR体験
- ・モデル化した建造物の発破解体

【出前授業例】

- ・対面授業(体験型の授業)
- ・遠隔授業(講義型の授業)

キックオフ出前授業(12月7日 12:45~14:35)

キックオフ出前授業 つくばサイエンス高等学校(1学年89名)

【4領域で実施予定】

建 築:大村 浩之(防災科学技術研究所)

家屋の流出シミュレーション研究の若手ホープ

ロボット:磯部 大吾郎(筑波大学)

計算力学をロボット機構制御に導入した研究者、学会会長

情 報:中島 研吾(東京大学)

スーパーコンピュータを利用した研究の第一人者

化学生物:坪倉 誠(神戸大学)

飛沫シミュレーション研究の第一人者

【実施予定】

- ・複数領域のコンテンツで**オムニバス形式で実施**
- ・同じ内容で2回実施、生徒は領域を2つ選択
- ※50分授業×2回 複数領域を同時展開

【本資料についてのお問い合わせ先】

教育庁学校教育部高校教育課指導担当
課長補佐 塚田 歩
主任指導主事 倉橋 琢也
TEL 029-301-5260